

作物共通（オオタバコガ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ）

発生の動向

- 1 基準圃場（北上市成田）におけるオオタバコガのフェロモントラップへの誘殺は、5月第4半旬から認められ、誘殺数は8月第1半旬に最も多くなった（図1）。巡回調査では、8月頃から、きゅうり、りんどう等で本種幼虫による被害が見られた。
- 2 基準圃場（北上市成田）におけるハスモンヨトウのフェロモントラップへの誘殺は、6月第3半旬から認められ、誘殺数は8月第2半旬から10月第1半旬にかけて平年より高く推移した（図2）。
- 3 基準圃場（北上市成田）におけるシロイチモジヨトウのフェロモントラップの誘殺は、7月第3半旬から認められ、誘殺数は8月第4半旬に最も多くなった（図3）。
- 4 オオタバコガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウは、飛来性のチョウ目害虫であるため、今後の発生動向に注意が必要である。

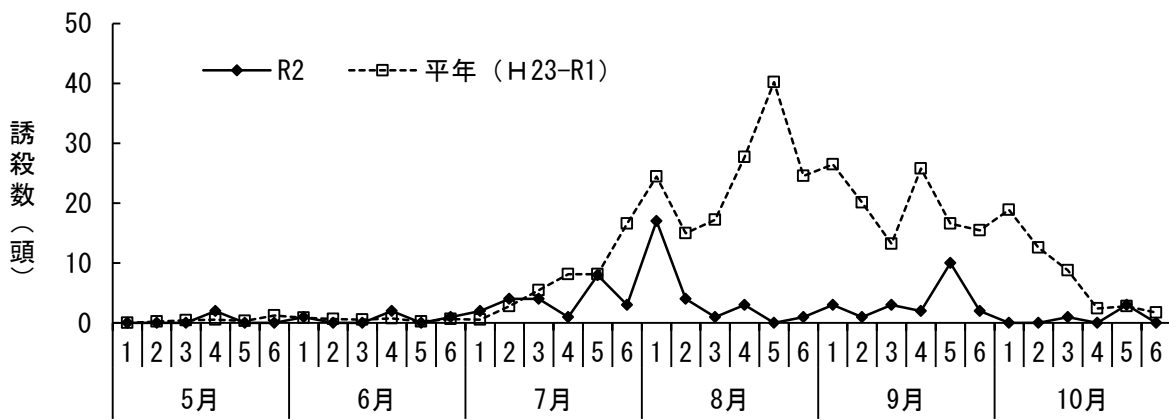


図1 基準圃場におけるオオタバコガのフェロモントラップ誘殺消長 (R2)

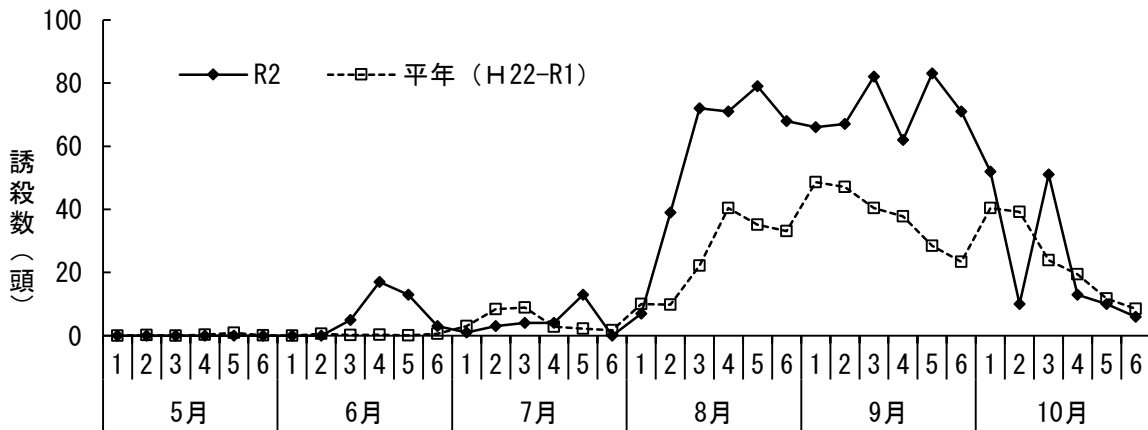


図2 基準圃場におけるハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺消長 (R2)

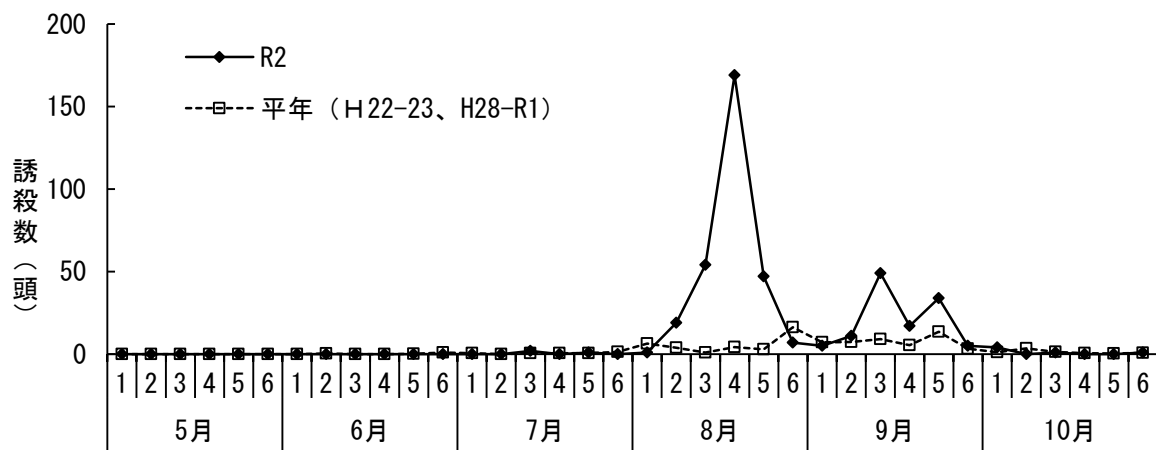


図3 基準圃場におけるシロイチモジヨトウのフェロモントラップ誘殺消長 (R2)